

指定校番号	29033	学級活動		生徒会活動	○	学校行事		中学校用
-------	-------	------	--	-------	---	------	--	------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	竹原市立竹原中学校	校長	住元 康男	生徒指導主事	望月 貢樹
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名	『V-SAT』(ボランティア活動)
取組のねらい 『キーワード: 自己有用感』	
地域貢献活動を通して、地域、保護者、異年齢と交流し自己有用感を高める。	
身に付させたい資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> ・主体性 ・規範意識 ・思いやり 	
取組の具体的内容 『キーワード: 主体性』	
<p>○5年前から始まった地域貢献活動 (Volunteer Student Association of Takehara junior high school) の取組である。今まで取り組んできた活動は、「竹の搬送」「スタディーサポート」「竹の灯」「資源回収」「小学校の校内美化」「賀茂川清掃」「校内の緑化」など多岐にわたっていた。地域に中学生にできるボランティア活動を募集し、それに対して答えていく形で進めてきた。しかし、実際に中学生にできる内容には限界もあり、現在は「スタディーサポート」「資源回収」「賀茂川清掃」「小学校の校内美化」に限定して実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタディーサポート：夏休み、冬休みに小学校からその小学校の卒業生に対して募集があり、小学生の補習学習に対してサポートする中学生を募集する。 ・賀茂川清掃：地域からの要望を受けて、地域主体の活動に参加する活動である。 ・その他の資源回収、小学校の校内美化についても増加傾向にある。 <p>上記の活動が定着しており、子どもたちが主体的に参加する状況が拡大してきている。</p>	
	
取組の課題・創意工夫 『キーワード: 主体性・創造』	
<p>【課題】定着してきたV-SATではあるが、参加者の中には「内申点があがるんじゃない？」とか「外部のクラブチームで参加が強制されているから参加した。」など本来の趣旨とは違う力が働き、活動に参加しても真面目にやらない生徒が見られることがある。生徒には「内申点には関係ないよ」「無理やり来るなら来なくていいんだよ」と返しながら、本来あるべき姿を求めている。</p> <p>【創意工夫】小中の連携をしていく中で、新たなボランティア活動を模索している。今年度は出身小学校に出向いて「中学生になるまでの必要なことを話す」という内容をV-SATという形で募集し、20名近くの立候補者の中から4名にしぼり小学校へ出向いて中学生が話をした。</p>	
	

取組の成果（効果）『キーワード：主体性・思いやり』

- ・年々主体的な参加者が増えている。「スタディーサポート」の参加者は、H26年度は38名、H27年度は84名、H28年度は86名、H29年度は127名と年々参加者が増加している。「賀茂川清掃」の参加者はH26年度は雨のため中止、H27年度は152名、H28年度は148名、H29年度は177名の参加となった。
- ・それぞれの活動を通して、地域から、小学生から何らかのことを学んでいる。多面的な考え方を身につけることができた生徒がいる。
- ・スタディーサポートの生徒の感想：みんな暑い中がんばっていて、言ったことをすぐに理解してくれたので助かりました。教える大変さも分かったのでよかったです。来年も是非挑戦していきたいと思いました。とても楽しい体験をさせてもらうことができました。（2年生女子）



今後の展開『キーワード：継続・規範意識』

- ・今まで5年間続けてきた活動もあるが、なくなったもの、新たに始まったものなどがある。今後も今定着している取組を継続させ、生徒・職員の意識を高める中でより良いものになっていくと考える。
- ・多くの活動は中学校とは違う場所で行われ、その場所でのルール説明を受け、それにしたがって活動をしている。時には地域の人から注意され、時には小学校の先生から注意されということを聞いている。場に応じた対応がまだしっかりと身につけていないことが考えられる。事前の指導をしっかりとしていく必要がある。



他校へのアドバイス『キーワード：信頼』

- ・活動スタート時には、外に生徒ができていくことをためらう声もあったが、実際に活動を行っていく中で、多くのお褒めの言葉や生徒の達成感のような声が届いてきた。学校では活躍できにくい生徒でも違う場所ではしっかり活動している場面もある。今では生徒を信用して任せられる場面も増えてきた。
- ・地域から、校区内の小学校から積極的に依頼が来るようになった。このことは、竹原中学校の取組が信頼されているからだと思える。